

## 自由論題 6

### 報告テーマ

農業賃金所得が農村家計の所得構成に与える影響

—CFPS 家計調査を通じて—

“Impact of agricultural wage on the income composition of rural households

-Through the CFPS household survey-”

### 氏名(所属)

葉青(東洋大学)

Ye Qing (Toyo University)

### 要旨(800字程度)

中国では改革開放以来、40年に渡って1人当たりGDPは飛躍的に成長した。しかし、この飛躍的な成長の背後で所得分配の不平等問題が深刻になっている。特に都市農村間の所得格差問題が挙げられる。1979年から2005年にかけて悪化し、2005年以後は一定な水準に維持、2010年以後次第に改善している傾向がある(寶劔久俊:2020)。そこで、2010年以後都市農村間所得格差の改善は農村家計のどのような所得によるのかそれについて分析するのは本研究の問題意識である。

中国は2000年代に入って土地経営権の流動化による農業生産の市場経済化が進行している。2007年7月に「農民專業合作社」に法人格が与えられた以来、農業生産の市場経済化をいっそう推し進めた。本研究は主にそういう現象から自営業農家或いは農業企業に雇用される農村家計メンバの「農業賃金所得」を注目する。

従来中国の所得分配を扱っている先行研究では、家計の全所得を構築する特定な1つを研究したものが多かった。例えば、李実(2015;2018;2019)、嚴善平(2005)、Ma, X. (2018)が挙げられる。しかし、それらの先行研究はデータ制約のために農村家計の農業賃金所得を注目されていない。

本研究はまず農業の市場経済化を把握するために、2010年、2014年、2016年、2018年CFPS調査の家計部分を用いて農村家計の農業賃金所得、農村家計が経営権を有する土地の貸し借りに関する所得及び家計数について議論する。次に、農村家計の全所得を構築する各所得の貢献度をshapley分解で計算した。

結論として以下のようにまとめた。①農村家計が農業から賃金を得ている家計数に対する考察は2014年から全国規模で増加していることを確認し、2018年時点でその割合は34.65%であった。②農業賃金所得は2010年以後農村家計の所得構成に大きな変化を与えて、都市への非農出稼ぎ所得と僅か4ポイントの差があった。③shapley分解による結果は2010年と比べて2018年、農村家計の賃金所得において農業賃金所得は全所得への貢献が都市への出稼ぎ所得+農業賃金所得の7.49%から2018年の11.74%に上昇して、都市への非農出稼ぎ所得の9.95%を上回った。以上の結論から農村家計が従来都市への出稼ぎを通じて生活を改善する時代が農業の市場経済化によって、県或いは村を離れずに地元の自営農家或いは農業企業に雇用される時代に変化したと言える。

### 参考文献:

- 李实（2015）：「中国居民财产差距研究的回顾与发展」，『劳动经济研究』，第五期，第三卷，pp.28-44.
- Li Shi&Wan Haiyue（2015）：“Evolution of wealth inequality in china”，*china economic journal*, 8(3), pp.264-287.
- 李实（2016）：「中国农村公共转移收入的减贫效果」，『中国農業大学学会报（社会科学版）』，第33卷，第5期，PP.71-80.
- 李实（2019）：「中国收入分配格局的最新变化」，『労働經濟研究』，第一期，pp.9-31.
- Ma, X.（2018）“Labor Market Segmentation by Industry Sectors and Wage Gaps between Migrants and Local Urban Residents in Urban China” *China Economic Review*, 47, pp.96-115.
- 巖善平（2005），『中国の人口移動と民工—マクロ・ミクロ・データにおける農民工の就業・賃金・暮らし』，晃洋書房.
- 寶劍久俊（2020）：「中国農業の構造調整と新たな担い手の発展」，『現代中国を読み解く三要素』，勁草書房，第二章，pp.64-91.